

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

### ○環境・体制整備について

法令に沿ったスペースを確保しているため、今後周知していきたい。バリアフリーについてはトイレがバリアフリーでない為必要に応じて適切に対応の検討を行っていく。また、現在対象となる児童・生徒の利用はありません。

### ○業務改善について

前年度と比較し、全職員での会議を行うことが増えました。今後も課題についての理解を広げていけるよう努めていく。

### ○適切な支援の提供について

支援終了後のミーティングは難しいが、翌日に支援会議を行い、情報共有や課題の周知・検討に努めている。

活動プログラムの立案をチームで行う事ができ、振り返りをする事も増えた。緊急を要する内容については当日会議を行っている。

### ○関係機関や保護者との連携について

家族支援として面談を定期的に設定します。他の教室との情報共有を行っており、その情報を全職員で周知を行う。

### ○保護者への説明責任等について

毎月通信で写真とともに活動内容や来月の予定などを発信しているので今後も継続して行いたい。

昨年度に保護者の方が交流する機会を設定し、今年度も同様に考えていたが、延期となったので、再度計画を行っていきます。

### ○非常時等の対応について

避難訓練が実施できていない曜日があり、全員が行えていないので今後は全員が参加できるように3カ月に1度実施をしていく。

## 事業者向け 児童発達支援自己評価表

### ○環境・体制整備について

教室は10人対応の部屋を午前午後5名ずつの利用となりスペースは確保されているが、運動活動を行うには狭い場合があるので、工夫を行う。

絨毯をクッションフロアに張り替えた後、玄関と活動スペースの区別がつきにくいので靴を脱ぐスペースなどを色分けして環境整備に努めていく。

現在加湿のためタオルを濡らし干しているが、今後安全に配慮して加湿器の導入を検討したい。

### ○業務改善について

活動計画表を作成し、目標に対しての評価を行い全職員による振り返りが出来ている。

職員研修(内部)の実施や、外部の研修に参加している。職員配置の関係で回数や機会が制限されるので、研修に行きやすい環境整備に努めていく

在宅で受けられる研修の紹介をし、視聴後の意見交換も行った。

非常勤職員は担当曜日の子以外の情報共有があまり出来ていないので、今後は全利用者の情報共有に努めていく。

### ○適切な支援の提供について

開始前の打ち合わせが全員でできない時があったが、申し送りをして活動内容に確認を行っている。

支援終了後に活動内容のふりかえりや課題を共有し対応を検討する時間を設けているので今後も継続する。

活動内容は各職員の特性を生かし運動プログラムやクッキング、科学的な遊びや夏は水遊びも行った。

今後も様々なプログラムが提供できるようにする。

地域行事にも参加することが出来た。今後も継続していく。

### ○関係機関や保護者との連携について

公園や外出先で等他の児童との交流を重ねているので、保護者に周知し、今後も継続して行っていく。

家族支援として面談や、連絡帳・LINEでの助言等を行っている。今後も面談の実施をし、課題の共有に努めていく。

他の教室の見学の実施や、来所していただき、共通の利用者の情報共有を行えている。

### ○保護者への説明責任等について

毎月通信で写真とともに活動内容や来月の予定などを発信しているので今後も継続して行いたい。

今年度はハロウィンイベントや教室見学などで、支援の様子をお見せする機会を設定出来た。新年度も公開日を設定し、支援の様子を公開するとともに、保護者同士の交流の場を持てるよう努めていきたい。

### ○非常時等の対応について

ヒヤリハット事例集を作成し、情報共有を行うとともに、改善策を実施し環境整備に努めている。

避難訓練を毎月実施し、利用者も職員も適切な行動が取れる様になってきた。送迎中を想定した訓練や不審者対応についても行う事ができたので、今後も継続して訓練を計画していく。

避難者カードの作成をし、非常時に備えている。